

様式③-1

平成30年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(継続事業): 事業地区・箇所別概要(1)

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名	
		街路事業	(都)野町西条線	
②事業担当課	課CODE	担当課	担当班	電話番号
	170120	都市政策課	街路・公園班	059-224-2706
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・準過疎・過疎)		市町字名
	30	鈴鹿・亀山 市部 一般		鈴鹿市 安塚町
④事務事業名	街路事業			
⑤基本事業名	快適なまちづくりの推進(交)			
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上			

2 事業の概要

事業の概要				
延長	280m		事業採択	2016年度
幅員	6.0(16.0)m		事業着工	2016年度
道路工	280m		事業完了	2019年度
			供用開始	2020年度
			全体計画事業費(億円)	1.867
			全体計画工期(年数)	4年
事業の目的				
当該箇所は、国道23号中勢バイパスとの平面交差が計画されていることから、沿道利用の向上、慢性的な渋滞解消、及び産業活動を支援するため、中勢バイパスの供用に合わせて整備を図る。				

3 事業計画の進捗状況

評価実施年度	平成29年度	前回評価	
評価結果(優先度判定の結果)	I	特記事項	
事業進捗率	2016年度までの事業進捗率 1.7%	2017年度完了までの事業進捗率	44.5%
事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]			実施済み総事業費 (億円) 0.831
道路詳細設計	1式		
用地測量	1式		

4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)		必要である
	○	必要でない
1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定(該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間(5~10年)を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定(該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したもの及び事業効果が著しく低下した事業	
<input type="checkbox"/>	□事業の主な目的を喪失した事業	
<input type="checkbox"/>	□需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業	
<input type="checkbox"/>	・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業	
<input type="checkbox"/>	□用地買取に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業	
<input type="checkbox"/>	□主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

5 公共事業再評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	継続
	中止
再評価審査の結果概要	